

平成27年9月10日

調査・研修報告書（会派個人用）

会派名：きずな

報告者：八谷文策

実施場所：兵庫県朝来市	実施日：9月5日
<p>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</p> <p>人口32,000人、高齢化率32%の朝来市に於ける、地域ケア会議視察研修会の視察を行う。地域包括ケアシステムとは利用者のニーズに応じて介護サービス、予防サービス、医療サービス、見守り等の生活支援サービス、住まいを適切に組み合わせて提供し、地域社会全体として24時間365日対応が可能なサービスを指し、このサービスを公的なサービスのみならず、地域住民やボランティア等により支えていくものとしている。</p> <p>ケアマネジャーによる会議を個々に分散していたものを、ケアマネジメント支援会議として纏めることにより、ケアマネジャーを同じ目的に向けて進むことを位置づけた。各事業所の、多くのケアマネジャーを結集することにより、より正確な個別支援計画を作り利用者に対する正確なサービスを行う事が出来るかを確立させようとしている。</p>	
<p>■参考とすべき事項</p> <p>苦しみぬいて確立してきた考え方を如何に庄原市に合わせる事が出来るか、個々の事業者間ではそれぞれに個別支援計画樹立して、それに従い支援をしているが、やはりケアマネジメント支援会議の様な統一した物を樹立すべきであろう。</p>	
<p>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</p> <p>個別支援計画を如何に正確に、そして常に新しく書き換えるかを考えるべきである。</p>	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。